

梱包種別	品名	個数	備考
<b>磯バッグ(磯上げ)</b>	<b>投げ渡しを考えると30Lくらいのバッグがよい</b>		
	救命ロープ(専用品)	1	一人の場合は磯から海面に垂らして落水に備える
	発炎筒	1	緊急時に使用する
	バンドエイド、テープ、薬(鎮痛剤等)	-	指サックがあると便利。
	タオル	1	各バッグに分散して収納する
	ヘッドランプ	1	初日の上磯時は身に付けておくこと
	ポケットティッシュ	5	各バッグに分散して収納する
	靴下(厚手)	1	足が冷えるとヤル気も低下
	カイロ	4	強烈に寒い日があります
	ゴミ袋	3	ポリバケツ用の大型の物が便利
	グローブの予備	1	長丁場なので3本出しがベター
	割り箸、スプーンなど	5	割り箸は多くある方が色々便利
	飲料水(お茶 500ml)	1	見回り時、船に積んだ荷物から補給する
	食料	2	夜食と朝食を入れておく
	釣り道具	-	ウキ、ハリ、ハリス、道糸の予備など
	リール	2	昼用、夜用
	ハンマー、ハーケン、ロープ	1	荷物の固定用 ロープ長5m程度
	携帯コンロ、燃料、ナベ、マグカップ、紙皿		コンロは登山用の物が小型で便利
	歯磨きセット	1	
	出刃包丁・簡易まな板	1	お刺身セット
	醤油・ワサビ	1	お刺身セット
	インスタントのスープ類、コーヒー	3	寒い時に至福の一杯!
<b>タックルバッグ</b>	<b>雨が防げる物(磯バッグ、防水トートバッグなど)</b>		
<b>(夜のみ磯上げ)</b>	ブルーシート (2.7m×2.7m)	1	雨よけ、防寒に使用する
	シェラフ(寝袋)、シェラフカバー	1	シェラフカバーは透湿防水製が快適
	敷きマット	1	銀マットなど (バッグに縛り付ける)
	LEDランタン	1	ヘッドライトと電池が共用できる物が便利
	ヘッドライト (予備)	1	電池が共用できる物
	カイロ	4	靴下用もあると暖かい
	ポケットティッシュ	5	各バッグに分散して収納する
	予備の燃料	2	携帯コンロ用、ガスランタン用
	予備の電池	2	電池の種類毎に2セット程度
	タオル	1	各バッグに分散して収納する
	飲料水(お茶 500ml)	1	飲料水も分散して収納
	コンクリート釘、ロックタイ(150mm)	10	N65程度 ブルーシートの固定用
	ロープ	4	ブルーシートの固定用 (5m程度×4本)
	ガスランタン	1	コンロと燃料が共用できる物が良い
	ガムテープ、ビニールテープ	1	ブルーシートを筒状にする際に必要
	滑り止めネット(100均製)	1	斜面で寝る際、銀マットの上に敷くと楽

梱包種別	品名	個数	備考
<b>ロッドケース(磯上げ)</b>			
	ロッド	4	2号(昼)～5号(夜)
	リール	1	昼用
	タモの柄、タモ網	1	
	シャク	3	夜用(大)、昼用(中)、予備
	尻手ロープ	1	ロッドやシャクのロスト防止
	替えスプール	3	2号～8号 お好みで
	仕掛け類	-	仕掛けの予備を収納する
	ナイフ、ペンチ	1	
	偏光グラス	1	予備があれば磯バッグに入れる
	ポケットティッシュ	3	各バッグに分散して収納
	割り箸	5	ハーケンと岩との間に入れて「セリ」にも使える
	タオル	1	各バッグに分散して収納する
	カサ	1	ゴルフ用が軽量で良い
<b>バックン(磯上げ)</b>	<b>マキエは入れずに道具を入れて上礁する</b>		
	サシエ入れ	1	
	水汲みバケツ	1	
	ドンゴロス	2	1つは予備 (磯替り時、道具などの収納用)
	マゼラー(マキエカッター)	1	
	飲料水 (カップ麺、雑炊作成用)	1	2Lのペットボトル (磯上がりしたら予備のドンゴロスに収納)
	サシエ、配合エサ	1	1回分をバックンに入れて上礁する
	シャク立て	1	
	タオル	1	魚用 (100均の雑巾など)
	竿立て	1	
<b>予備のバックン(船)</b>	<b>(船)は船に置く荷物</b>		
	配合エサ	2	
	飲料水 (カップ麺、雑炊作成用)	1	2Lのペットボトル
	ドンゴロス	1	
<b>防水バッグ(船)</b>	<b>磯に下るす事もあるので防水製がベター</b>		<b>(船)は船に置く荷物</b>
	着替え		ウェア、下着、ヒートテック、靴下など
	その他の予備品		即、必要でないもの
<b>クーラー70L(船)</b>	釣った魚を入れる	1	見回りの都度、釣果をクーラーに納める
<b>クーラー35L(船)</b>	食料、嗜好品、サシエなど	1	見回りの都度、磯に必要量を下ろす
	<b>帰りには両方のクーラーを魚で満杯に！！</b>		

遠 征 装 備

梱包種別	品名	個数	備 考
<b>食料 (一泊二日)</b>			
	金ちゃん 鍋焼きうどん (夜食)	1	磯バッグ
	鮭むすび (朝食)	2	磯バッグ
	鮭雑炊の元 (朝食)	1	磯バッグ
	焼きソバ UFO (昼食)	1	35Lクーラー(見回り時、磯へ下ろす)
	カップヌードル (予備食)	1	35Lクーラー(見回り時、磯へ下ろす)
	飲料水 (お茶、スポーツ飲料)	4	磯バッグ、夜用バッグ 35Lクーラー(見回り時に不足分を補給)
	アルコール類	6	35Lクーラー(見回り時、磯へ下ろす)
	ソーセージ (夕食、朝食)	2	35Lクーラー(配給弁当時、磯へ下ろす)
	レトルトカレー (夕食)	1	35Lクーラー(配給弁当時、磯へ下ろす)
	缶詰 (朝食)	1	35Lクーラー(配給弁当時、磯へ下ろす)
	生卵	2	鍋焼きうどん、雑炊に入れると美味!
	焼肉、すき焼きなど (昼食)		スタミナ補充にお勧め!
	刺身 (昼食、夕食)		磯バッグ (素材は現地で調達)
	ユンケルなどの栄養ドリンク	3	35Lクーラー (見回り時に栄養補給!)
<b>エサ (一泊二日)</b>			
			<b>必要量を見回り時に磯へ上げる</b>
	オキアミ3Kg3枚+赤アミ1角 (1セット)	3	初日に解凍分1セットを磯上げ
	オキアミ3Kg3枚	1	初日に磯上げて、磯で解凍する
	配合エサ(集魚材)	2	予備のバツカンに入れておく
	サシエ (加工エサなど)	5	35Lクーラーに保管し見回り時に補給
<b>仕掛け</b>			
	ハリス		2号~10号
	道系の予備		メインに使用する号数を2巻程度用意する
	ウキ、水中ウキ、電気ウキ		
	ガン玉、ジントン、ナマリ		海に落とした際の予備も用意する
	ケミホタル		
	ハリ		号数、タイプ別に数種類用意する
	小物類(潮受けゴム、からまん棒)		
	ウキ止め糸		
<b>夜釣り用の仕掛け類は昼用と分別して収納しておくとい勝手が良い</b>			

## 遠征のポイント

船の見回りは原則として朝、昼、夕の3回程度。次の見回り時間と天候の様子を必ず聞いておこう。

磯に上げるバッグは投げ渡しを考えて、あまり大きくないものを選ぶ。大きい1つより、小さい2つ。

荷物には必ず名前を書いておく。日本全国から人が集まるのでフルネームがベター！

磯バッグの中を仕切りバツカン等で仕切れば収納力がUP！小物類もポーチに入れると使いよい。

夜の磯は危険が多い。多めの灯りで安全確保！常に点けておけば魚への影響はない。

ロッドケースの収納物だけで一応の釣りが出来るようにまとめると離れ磯で有利。

男女の風は凄まじい…ハーケンとロープは必ず携行し荷物を固定しておこう。

たいへん危険な凸型アンカー。大ケガ、転落の元凶なので明るいうちに確認を。

何が必要で何が不要かを考えておき、見回り時に unnecessary な物は船に載せておく。常に整理整頓！

エサが足りないのは実にみじめ…エサは多めに持って行こう！

水は船で補給できるので必要以上に持っていく必要はない。

マキエに使用する地アミは夜だけ入れる人が多い。自分はまとまり重視で昼も入れる。

暖かい食べ物、飲み物が作れるコンロ、ポットは持っていこう…冬季の男女は風が強くなり寒い。

食料はバッグに入れて必ず蓋をしておこう。男女のカラスは食料のありかを知っている！

寝る時は竿をたたんでおこう。突風による竿の破損などリスクは大きい！